

令和 5 年度

事業報告書

自 令和 5年 4月 1日

至 令和 6年 3月31日

学校法人伊藤学園

1. 法人の概要

(1) 教育方針 :

学校の創立者伊藤時治先生は、昭和18年教育の基本として「創造、礼儀、明朗」を三綱領としてかけ、地域と時代の要請に応じ、秋田市に私立秋田服装更生実践研究所を設立。60年間に渡りファッション教育、幼児教育、情報教育、福祉教育の分野に於いて、一意教育に専念されました。創立者伊藤時治先生の残された教えは今日まで学園の灯火として受け継がれております。今日、実践的技術教育及び資格取得教育を第一に考え、各校ともに気鋭の講師による熱意ある授業を進め、質の高い教育、且つ、力のつく指導を行うことを教育方針にかかげております。

(2) 名 称 : 学校法人 伊藤学園 【昭和26年3月6日法人設立】

(3) 住所等 : 秋田県秋田市中通四丁目3番11号

電話番号 018-832-6548

ファックス 018-832-6549

ホームページ <https://www.ito-gakuen.ac.jp/>

(4) 設置する学校 : 名称 秋田情報ビジネス専門学校

住所 秋田県秋田市中通四丁目3番11号

名称 秋田社会福祉専門学校

住所 秋田県秋田市中通四丁目3番11号

名称 秋田東幼稚園

住所 秋田県秋田市東通三丁目5番1号

名称 秋田日本語学院

住所 秋田県秋田市中通四丁目3番11号

(5) 理事長氏名 : 伊藤 昇

(6) 役員概要 : 理事 6名、監事 2名、評議員 13名

(7) 教職員の概要 (令和5年5月1日現在)

秋田情報ビジネス専門学校

教員 本務 14名 兼務 10名

職員 本務 3名 兼務 3名

秋田社会福祉専門学校

教員 本務 6名 兼務 6名

職員 本務 2名 兼務 2名

秋田東幼稚園

教員 本務 8名 兼務 5名

職員 本務 2名 兼務 0名

秋田日本語学院

教員 本務 4名 兼務 2名

職員 本務 1名 兼務 0名

2. 沿革

昭和18年	4月26日	私立秋田服装更生実践研究所を伊藤 時治 創設
昭和20年	9月 1日	伊藤 時治 秋田服装学院院主となる
昭和21年	1月31日	各種学校として秋田県で最初の認可を受ける
昭和23年	2月13日	財団法人として認可を受ける
昭和26年	3月 6日	学校法人に変更許可を受ける
	9月 1日	「秋田服装専門学校」と改称する
昭和37年	7月	現校地 3,346 m ² を購入全校舎の移転増築工事を完了
昭和41年	2月 3日	労働省の指定校となる
昭和46年	8月	伊藤 時治理事長モード研究のため欧米8ヶ国を視察
昭和48年	5月 1日	学校寮4階鉄筋コンクリート建 770坪 (2,541 m ²) 着工
	8月31日	学校寮を竣工
	10月27日	創立30周年記念式典を挙げる
昭和50年	4月 1日	近畿大学豊岡短期大学通教部連携校となる
昭和51年	4月 1日	専修学校設置基準により認可を受ける
昭和53年	9月 1日	秋田東幼稚園設置認可を受ける
昭和54年	4月 1日	秋田東幼稚園を開園
昭和53年	9月 1日	秋田東幼稚園設置認可を受ける
昭和57年	11月 3日	学園創立者 伊藤時治理事長 藍綬褒章受章
昭和60年	12月 6日	秋田情報ビジネス専門学校設置認可を受ける
昭和61年	4月 1日	秋田情報ビジネス専門学校を開校
昭和61年		園舎2階(保育室2室)増築完成 215 m ²
昭和63年		ホール(体育館)建築竣工 325 m ²
平成 2年	2月22日	秋田県知事より秋田福祉専門学校設置認可を受ける
平成 2年	2月28日	厚生省社会局より秋田福祉専門学校介護福祉士養成施設の指定を受ける
平成 2年	4月 1日	秋田福祉専門学校を開校
		秋田服装専門学校から校名を「TOKI ファッション工科専門学校」と改名
平成 3年	4月 1日	法人名さわらび学園を「学校法人伊藤学園」と改名
平成 6年	4月	ファッションデザイン科(TOKI)を短大併学コースとしてスタート
平成 6年		屋内温水プール完成、給食室完成
平成 8年	4月	近畿大学豊岡短期大学通信教育学部学習指導校となる
	11月	北校舎7階建増改築工事竣工
平成 9年	4月 1日	秋田福祉専門学校に「福祉専門学科(3年課程)」開設
平成 9年		附属駅東ベビー保育園開園
平成10年	4月 1日	秋田情報ビジネス専門学校に北海道情報大学通信教育部併修学科 「経営情報科(4年課程)」開設
平成11年	4月 1日	秋田情報ビジネス専門学校に「医療福祉ビジネス科(2年課程)」開設
平成14年	4月26日	TOKI ファッション工科専門学校創立60周年を迎える
平成14年		屋内温水プール 園舎隣に移設
平成16年	4月 1日	秋田情報ビジネス専門学校に近畿大学豊岡短期大学同時入学「保育 福祉ビジネス科(3年課程)」開設 近畿大学豊岡短期大学通信教 育部こども学科併修開始
平成16年	4月～17年3月末	実習棟を改修整備し、ファッション実技及び音楽技術の実技指導 等を本校舎より移設指導開始

平成19年	4月	1日	近畿大学豊岡短期大学通信教育学部教育連携校となる
平成23年	4月	1日	秋田情報ビジネス専門学校に「ビジネス専攻科(1年課程)」開設
平成24年	4月	1日	秋田福祉専門学校 近畿大学豊岡短期大学通信教育部こども学科併修開始
平成26年	4月	1日	秋田情報ビジネス専門学校に「ペットビジネス科(2年課程)」開設
平成26年	4月	1日	TOKI ファッション工科専門学校全学科募集停止
平成27年	4月	1日	秋田情報ビジネス専門学校に「ファッションビジネス科(2年課程)」開設 ※TOKI ファッションより学科移設
平成27年	4月	1日	秋田福祉専門学校から校名を「秋田保育福祉専門学校」と改名
平成28年	4月	1日	東京福祉大学通信教育課程併修校となる(情報ビジネス・秋田社会福祉)
平成28年	4月	1日	秋田保育福祉専門学校から校名を「秋田社会福祉専門学校」と改名 東京福祉大学通信教育課程併修「社会福祉学科・保育児童福祉学科(4年課程)」、「総合福祉学科(2年課程)」開設
平成29年	3月31日		秋田保育福祉専門学校 介護福祉学科募集停止
平成30年	3月31日		TOKI ファッション工科専門学校廃校
平成30年	3月31日		秋田情報ビジネス専門学校・秋田保育福祉専門学校 近畿大学豊岡短期大学通信教育部こども学科併修終了
平成31年	4月	1日	秋田社会福祉専門学校に 東京福祉大学通信教育課程併修「心理福祉学科(4年課程)」開設
令和3年	1月	7日	秋田日本語学院 秋田県より設置認可を受ける
令和3年	2月15日		秋田日本語学院 法務省より告示を受ける
令和3年	3月31日		秋田情報ビジネス専門学校「こども総合科(3年課程)」募集停止
令和3年	4月	1日	秋田日本語学院を開校
令和3年	4月	1日	秋田社会福祉専門学校に 「保育・福祉・心理学科(大学併修4年コース)」 「保育・福祉・心理学科(短大併修3年コース)」開設
令和4年	4月	1日	秋田情報ビジネス専門学校に 「ペットビジネス科 動物看護コース(3年制)」開設
令和4年	4月	1日	秋田社会福祉専門学校「心理学科(大学併修4年課程)」に科名変更
令和4年	4月22日		「愛玩動物看護師養成所(法附則第2条第1号)」秋田県より 指定を受ける
令和4年	7月	1日	秋田日本語学院2022年度4月期入学式
令和4年	7月26日		秋田情報ビジネス専門学校・秋田社会福祉専門学校 学校関係者評価委員会
令和4年	8月12日		「愛玩動物看護師養成所(法第3条第2号)」秋田県より 指定を受ける
令和4年	12月26日		秋田日本語学院2022年度10月期入学式
令和5年	3月23日		秋田社会福祉専門学校「総合福祉学科(2年制)」募集停止
令和5年	3月27日		文部科学省より職業実践専門課程の認定を4科受ける
令和5年	7月26日	27日	教職員AED講習会
令和5年	8月	4日	厚生労働省より専門実践教育訓練講座の指定を4科受ける
令和5年	11月	3日	秋田情報ビジネス専門学校・秋田社会福祉専門学校合同学園祭開催
令和6年	3月22日		秋田日本語学院 第1回卒業式

●事業の概要 【令和5年度】

【秋田情報ビジネス専門学校】

(1) 学校の目的

本校は、教育基本法および学校教育法に従い、高等学校における教育の基礎の上に、職業若しくは実生活に必要な技能と教養の向上を図るため、工業および商業実務に関する専門的な教育を行い、社会の発展に貢献できる人材を育成することを目的とする。

(2) 教育方針

本校では、現代社会の要請、特に地元産業界のニーズに合った人材育成を目標に、実社会で要請され、すぐ役に立つ資格・能力・知識を身につけさせる。同時に一般教養とマナーを身につけ、明るく健康で建設的な意志を持った社会人を育成することをめざしている。

(3) 設置する学科の定員及び学生数の状況（令和5年5月1日現在）

課程	学科名	修業年限	入学定員	収容定員	学生数
工業	経営情報科	4年	5名	30名	13名
	情報システム科	2年	40名	85名	69名 【委託訓練生】1名
商業実務	医療福祉ビジネス科	2年	25名	50名	39名
	総合ビジネス科	2年	15名	30名	20名
	ペットビジネス科 トリマーコース	2年	10名	20名	12名
	ペットビジネス科 動物看護コース	3年	15名	30名	22名
	ビジネス専攻科	1年	5名	5名	2名

(4) 主な活動

4月12日	入学式（秋田キャッスルホテル）
5月24日	三校合同避難訓練
6月15日	球技大会（秋田県立体育館）
7月26日・27日	教職員AED講習会
9月18日	動物愛護フェスティバル【学生ボランティア参加】
9月29日	校外研修（山形県）
11月3日	学園祭
2月2・9・29日	ジョブカードセミナー
3月8日	令和5年度二校合同卒業証書授与式（秋田キャッスルホテル）

(5) 就職支援・実績（令和6年3月31日現在）

各学科教員と就職担当者が連携し、学生の個性や希望を尊重したうえで、自己分析、履歴書作成、面接指導など、きめ細やかな指導を行った。令和5年度の卒業生は、令和6年2月には就職希望者は全員希望職種で内定先が決定した。企業側が良い学生を早く獲得しようと、採用活動が昨年度よりさらに早まったことから、本校でも例年より早く内定をいただく学生が多かった。1年次から卒業年次の各段階で必要な「求人票の見方」「自己分析」「面接対策」など外部講師による就職関連のセミナーを実施している。令和6年1月からハローワークの週1回の出張相談を校内で実施しており、面接練習、企業選びなど学生への対応をいただいております、情報共有をしています。

学科名	卒業生	就職希望	内定者	内定率	備考
経営情報科	4名	4名	4名	100%	
情報システム科	34名	23名	23名	100%	進学8名
医療福祉ビジネス科	24名	24名	24名	100%	
総合ビジネス科	9名	8名	8名	100%	
ペットビジネス科 トリマーコース	6名	6名	6名	100%	
ビジネス専攻科	2名	1名	1名	100%	

【秋田社会福祉専門学校】

(1) 学校の目的

本校は、教育基本法および学校教育法に従い、高等学校における教育の基礎の上に、質の高いニーズに対応できる高度で実践的・総合的な知識・技術をもった主体的で心豊かな人材を育成し、社会の発展に貢献できる人材育成を目的とする。

(2) 教育方針

本校では、現代社会の要請、特に福祉・保育業界のニーズに合った人材育成を目標に、実社会で要請され、すぐ役に立つ資格・能力・知識を身につけさせる。同時に一般教養とマナーを身につけ、明るく健康で建設的な意志を持った社会人を育成することをめざしている。

(3) 設置する学科の定員及び学生数の状況（令和 5年5月1日現在）

課程	学科名	修業年限	入学定員	収容定員	学生数
教 育 社会福祉	保育・福祉・心理学科 心理コース 大学併修4年コース	4年	10名	40名	6名
	社会福祉学科 大学併修4年コース	4年	10名	40名	10名
	心理福祉学科 大学併修4年コース	4年	10名	40名	6名
	総合福祉学科	2年	20名	40名	8名

(4) 主な活動

4月12日	入学式（秋田キャッスルホテル）
5月17日	校外研修（イチゴ狩りと西馬音内盆踊り会館、芝桜観賞）
5月24日	三校合同避難訓練
6月15日	球技大会（秋田県立体育館）
6月30日	キッズサッカー交流会（総合福祉学科2年以外全員）
7月4日	校外研修（わらび座）
7月10日12日	障害者福祉サービス事業所見学
7月11日～13日	介護実習（総合福祉学科2年）
7月26日27日	教職員AED講習会
7月29日30日	「子育て応援団すこやかあきた」ボランティア参加（全員）
10月6日	障害者スポーツ交流事業参加
11月3日	学園祭
3月8日	令和5年度二校合同卒業証書授与式（秋田キャッスルホテル）

(5) 就職支援・実績（令和 6年3月31日現在）

各学科の教員と就職担当者が連携し、学生の個性や希望を尊重したうえで、自己分析、履歴書作成、面接指導など、きめ細やかな指導を行った。4年生については早い時期から目標を定め活動し、7月早々には内定をいただくことができた。総合福祉学科については進路が不明確なまま入学するケースが多く、10月以降に動き出す学生が多かった。1名は事務系を希望し簿記試験など個人的に力を入れて臨んだ。他4名については介護関係へと進路を決定するのに時間を要し、最終的に高齢者施設、障害者事業所関係に就職となった。1名については健康状態を見ながらゆっくり進路を考えていきたいとの要望で就職活動まで至らずに年度末を迎えることになった。4月に向けて就職活動の支援を行う。

学科名	卒業生	就職希望	内定者	内定率	備考
社会福祉学科 大学併修4年コース	1名	1名	1名	100%	
総合福祉学科	6名	5名	5名	100%	

【秋田東幼稚園】

(1) 教育目標

本園は、次のような子どもに育てるよう努めています。

- (1)何事にも挑戦する意欲と頑張る気力のある子どもに育てる
- (2)健康で体力があり、運動の好きな丈夫な子どもに育てる
- (3)誰とでも仲良く遊べる子どもに育てる
- (4)しっかりとあいさつのできる礼儀正しい子どもに育てる

(2) 本園の特色

- (1)年間を通しての園外保育や、屋内温水プールでのプール遊びを通して、健康増進と体力向上に努めています。
- (2)食育教育を重視して健康で丈夫な身体作りに努めています。
- (3)マラソン大会に向けて毎朝のかけっこを頑張ったり、音楽発表会で練習の成果を披露する経験を通して、子どもたちが達成感を味わえるよう努めています。

(3) 設置する学級編成及び園児数の状況（令和 5年5月1日現在）

学年	クラス名	園児数
年少組 (3歳児)	ちゅうりっぷ	27名
	たんぼぼ	27名
年中組 (4歳児)	りす	26名
	ぞう	26名
年長組 (5歳児)	そら	22名
	たいよう	20名

(4) 主な活動

4月 6日	令和5年度始業式
4月 8日	令和5年度入園式
5月11日	避難訓練
6月 7日	親子遠足
6月14日	歯科検診
6月27日	内科検診
7月 7日	七夕のつどい
9月 9日	運動会
10月 3日	マラソン大会
11月11日	令和6年度新入園児面接
11月18日 19日	生活発表会
12月16日	クリスマス音楽発表会
1月25日	避難訓練
2月 2日	豆まき会
3月 4日	卒園を祝う会
3月 9日	令和5年度卒園式
3月11日	令和5年度修了式

【秋田日本語学院】

(1) 学校の目的

本校は、外国人に対して日本語教育を行い、大学等への進学及び学生ひとりひとりが目指すキャリアを実現できるコミュニケーション能力、様々な文化・慣習を理解できる異文化対応力の向上を目指し、日本を含めた国際社会でグローバルに活躍できる人材を育成することを目的とする。

(2) 教育方針

学生自らの学ぶ意欲を尊重し、学校での学習とともに自立学習が確立できるよう指導を行い、学生が希望する大学、専門学校への進学の実現に繋げていく。また、進学のための日本語教育に留まることなく、日本の社会生活に役立つバランスの取れた日本語および生活の指導を行う。そして異文化理解、相互理解をはかりグローバルに活躍できる人材を育成していく。

(3) 設置する学科の定員及び学生数の状況 (5月1日および10月1日)

※本校は前期(4月、2年コース)および後期(10月：1年6か月コース)の2期の入学があり、其々の時点の学生数は次のとおり。

令和5年5月1日現在

	コース名	修業年限	入学定員	収容定員	学生数
日本語	進学2年コース	2年	40名	40名	30名
	進学1年6か月コース	1年6か月	40名	40名	22名

令

令和5年10月1日現在

	コース名	修業年限	入学定員	収容定員	学生数
日本語	進学2年コース	2年	40名	40名	30名
	進学1年6か月コース	1年6か月	40名	40名	34名

(4) 主な活動

4月 6日	入学オリエンテーション(2年コース)
4月10日	授業開始
7月 7日	七夕授業イベント(短冊づくり)
7月14日	校外学習(にかほ市、TDKみらい館等)
10月 1日	秋田国際フェスティバル参加(ネパール学生のダンス有志参加)
10月 5日	入学オリエンテーション(1年6か月コース)
11月 5日	ユネスコスピーチ大会参加(希望者3名)
12月22日	校外学習(横手市、秋田ふるさと村等)
2月 2日	節分イベント(豆まき)
3月22日	第1回卒業式

(5) 進学支援・実績 (卒業後の進路)

令和5年度は第1期生30名が卒業を迎えた。卒業後の志望進路に対して担任教員と事務局の連携のもと進路指導及び支援をきめ細やかにを行い、学生それぞれが希望する進路へ進むことができた。日本語学校卒業後の進路は進学が主であったが、一般的な傾向として特定技能の就職を希望する学生が増えてきており、当校でも3名の学生が特定技能での就職となった。

希望進路	希望者数	進路決定数	率	備考
進学	23名	23名	100%	専門学校進学23名
就職	5名	5名	100%	技・人・国2名、特定技能3名
そのほか	2名	2名	100%	家族滞在1名、在学(留学)延長1名